がいをとするののにするの

（）

１ このは、をとするののにする（２５６５。「」という。）１０のにづき、のにするため（びをむ。「」という。）ががいにしてにするためになをめるものとする。

（）

２ このにおいて、のにげるのは、にめるところによる。

（１）がい　（４５８４）２１にするをいう。

（２）　２２にするをいう。

（３）ない　がいにし、ながなく、がいをとして、、サービスしくはのをし、これらのにたって、をし、はがいでないにしてはさないをつけることなどにより、がいのはをすることをいう。

（４） がびをうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったに、がいのはをすることのないよう、ののためにかつなで、そのにうがでないものをいう。

（の）

３ は、のをするため、がいにし、ないびのをしてはならない。これにたり、は、にめるにするものとする。

（の）

４ のうち、をするにある（ 「」という。）は、がいをとするのをするため、のにげるをしなければならない。

（１）のをじたにより、がいをとするのにし、そのするのをし、のにするをめさせること。

（２）がいから、ないびのにするはのがあったには、にそのをすること。

（３）のがされたには、そのするにし、のをにうようすること。

２　は、がいをとするにするがじたには、かつにしなければならない。

（の）

５　によるがいをとするにし、がいびそのそののからのににするためのを、にく。

２　をけるは、、びがいのにするとともに、、、、ファクス、メールそのがいがとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　のは、のにじのににするをすることができる。

４　１にするにせられたは、にし、のプライバシーにしつつでをり、のがあったにするものとする。

５　１のは、にじ、のをるようめるものとする。

（）

６　は、においてがいをとするののをるため、ない、のについてのをみげ、びをうほか、これらをにし、にじてびをうものとする。

２　は、をにすることにより、のやがいのをめるようめるものとする。

（）

このは、２９２１からする。

をとするののにするのにる

１　ないの

は、７１ののとおり、そのはをうにたり、がいをとして、がいでないとないをすることにより、がいのをしてはならない。これにたり、のにげるにすること。

（１）がいをのとするびに、がいそのものではないが、いすののや・・のなどのなにより、がいのやをしてはならない。

（２）のはないにはしない。

ア　がいをがいでないとべてすること（）。

イ　がいにして、のによりがいでないとなるいをすること。

ウ　のをするために、なでプライバシーにしつつ、がいのをすること。

２ なのの

２３のなにするかのは、のにげるによりい、なをせずにこれをするなどしてのをなうことのないようすること。また、はながあるとしたには、がいにそのをし、をるようめることがましい。

（１）がいをとして、、サービスしくはのをするのいが、にてなのにわれ、そのにらしてやむをないとえる。

（２）のごとに、がい、の（の、の、の・・の、の）びの・の・・ののにみ、やにじて・にする。

３ ないの

ないにたりるはののとおりである。なお、２でしたとおり、ないにするかかについては、のごとにされることとなる。また、ここにされているについては、ながしないことをとしていること、さらに、あくまでであり、されているだけにられるものではないことにすること。

（１）がいがあることをにをすること。

（２）がいがあることをにのをさせること。

（３）がいがあることをにの、の、パンフレットのをむこと。

（４）がいがあることをに、シンポジウムへのをむこと。

（５）・の、にではないにもかかわらず、がいがあることをに、のにのをめるなどのをけはにがないにもかかわらず、のをむこと。

４ の

は、７２ののとおり、がいのののについてをしなければならない。これにたり、のにげるにすること。

（１）・の・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、・の・・のなにはばないこと。

（２）がいの（がい、がいの、、）やのがめられる・にじてのがなり、かつがいものであり、びについて、５にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にすること。

（３）のは、の、のにじてわりるものであること。

（４）のにたっては、（をむ。）のほか、、、、のやりサインによる、による（き。）など、がいがとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられるものであること。また、がいからののみでなく、がいやがいによりののがなには、がいの、、、コミュニケーションをするがをしてうのもむこと。

（５）のがながいが、、をっていないで、のをとしていることがであるときは、なをするためにをきかけるなど、なにめること。

（６）がそのはのとしてするをにをする、に、がいとのわりがじることがされるにたっては、されるのにきながずることによりがいがをけることのないよう、にじ、をまえたのにめるよう、にりむこと。

５ なのの

２４のなについては、なをせずにするなどしてのをなうことなく、のごとに、のにげるのをし、やにじて・にするものとする。

（１）はへのの（はの・・をなうかか）。

（２）の（・・、の）。

（３）・の、・、・。

６ の

は、４でしたとおり、なやにじてなり、かつのいものであるが、としてののようなものがある。なお、ここにしたについては、５でしたながしないことをとしていること、また、これらはあくまでもであり、されているだけにられるものではないことにすること。

（１）にたりるへのの

ア　があるに、にキャスターげのをする。

イ　のいにかれたパンフレットをってす。パンフレットのをかりやすくえる。

ウ　のまでののに、がいのにわせたでいたり、・・のりについて、がいのをいたりする。

エ　がいのにより、にのがあるに、のをにする。

オ　によりをさえることがしいがいにし、がをさえたり、バインダーのをしたりする。

（２）にたりるのの

ア　、みげ、、、、き（のひらにをいてえる）などのコミュニケーションをいる。

イ　について、、でするに、のでページがなりうることにしてする。

ウ　がながいにし、コミュニケーションボードをしてをする。

エ　などで、でうを、などにする。

オ　のに、をののでしたり、わかりやすいでしたりする。のがあるには、やといったをう。

カ　がながいにし、や、などをいずにする。

キ　がいからしがあったに、２つのことをにすることはけ、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は２４ではなく・でするのをにいたをける。また、にいてしたり、をすには、ルビをしたをいたり、をいたり、かちき（をくとき、とのにをくき）をったりする。

ク　パニックになったときは、しないように、またがないようにし、りのにもをめながら、ちくまでしばらくる。また、パニックのがいへちけるをする。

（３）ルール・のなの

ア　をつことがながいにし、をえたり、ののをたできをれえたりする。

イ　ってにんでをっているに、ののをたで、がいのがるまでやをする。

ウ　スクリーンやがよくえるように、スクリーンにいをする。

エ　をにいへする。

オ　ののにおいて、がいのがまれる、、がいとされていないをがいのにする。

カ　との、のにいることによるにより、のがある、がいにの、のにじてをする。

キ　はをうにおいて、にるがられることをに、がいのあるのをするのをめる。